

(件名) 健康保険証存続を求める意見書の採択を求める陳情書

(陳情の趣旨)

貴職におかれましては、平素より県民の医療確保のために日夜ご尽力をされていることに深く敬意を表します。

政府は、2024年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を可決・成立させました。

しかし、誤登録や情報漏えい、「資格無効」と表示される等、マイナ保険証に関するトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安や疑問を抱えています。

そのような中、岸田文雄首相は、8月4日の記者会見において、資格確認書を申請によらず交付し有効期限を最長5年に延長すること、マイナ保険証の利用登録の解除を可能とすることを発表しました。しかしながら、マイナ保険証によるトラブルは、同月8日の総点検中間報告において1,069件もの紐づけ誤りが報告され、すでに判明したものと併せ、8,400件を超える事態と発展し、更なる国民の不安を招く結果となっております。

当会が実施したアンケート調査(回答数144件)では、オンライン資格確認システムを運用する医療機関129件のうち、53件(41.1%)が何らかのトラブルを経験しています。

他人の情報の誤紐づけによる投薬・診療情報の取り違えは、重大な医療事故につながりかねません。機微性の高い医療情報を他人が閲覧できる状態になっていたことは重大な問題です。

いつでもどこでもだれでもが安心して医療を受けられるようにするためにも健康保険証は不可欠です。現在の健康保険証の存続を求める意見書を提出して頂けますよう、お願い致します。